



富山県

No.55 2010年4月

中央植物園だより



ナノハナ

富山県でも、春になると一面を黄色く染めるナノハナを見ることができます。日本では古くから野菜や油の原料としてアブラナが栽培されてきましたが、近年は植物油の原料としては別種のセイヨウアブラナが栽培されています。現在「ナノハナ」はアブラナ属全体の呼び名として使われることが多いようです。

「里の春」 撮影/小竹文雄さん (第12回私の植物写真展応募作品)

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

4月～6月のサンライトホール展示

「植物画で見るサクラ展—永遠の桜の園—」

4月29日(木・祝)まで開催しています。

「花の命は短くて」という言葉があるように、サクラの見ごろも一つの品種では長くて10日間ほどです。しかし、精密に描かれた植物画はその最盛期の姿を半永久的に私たちに見せてくれます。中央植物園が収蔵する故二口善雄画伯と中央植物園友の会植物画部会会員の方々によって描かれたサクラの植物画を展示します。

二口画伯は明治33年に金沢に生まれ、東京美術学校(現東京藝術大学)洋画科を卒業後、東京帝国大学理学部植物学教室に画家として勤務しました。文部省理科図集をはじめ多数の植物画を製作し、日本における芸術としての植物画を確立させました。

平成7年、氏の作品の約半数である1700点余りが富山県中央植物園に寄贈されました。



二口善雄画伯が描いた
コヒガン



七山節子さん(友の会植物画部会)が
描いたサトザクラ‘カンゼン’ (関山)

2010年の今年のサクラは
‘カンゼン’ (関山)に決定!



中央植物園では毎年「今年のサクラ」を選んで、皆さんに紹介をしています。2010年は‘カンゼン’ (関山)に決まりました。

「ソメイヨシノと夜桜観賞」

富山地方気象台の開花宣言の6日後から
4日間開催します。



ソメイヨシノの並木をライトアップして、昼間と
合わせて無料開園します。閉園時間は21:30です。
21:00までにご入園ください。

「黄色いサクラ・ウコンの 夜桜観賞」今年も開催決定!

4月中下旬の2日間、ウコンの満開に合
わせて開催します。夜は21:30まで開園し
ます。開催日は決定次第ホームページな
どでお知らせします。



入園料は昼間600円、
17:00以降300円、
高校生以下は無料です。

ソメイヨシノとは
違った華麗なサクラ
をお楽しみください。



「第31回春のラン展」

5月3日(月・祝)～5日(水・祝)



エビネの開花に合わせて富山県蘭協会と共同で開催します。エビネの仲間をはじめ日本の野生ランや洋ランなど富山県蘭協会会員が栽培している約250株のランを展示します。

会期中はランの即売も開催!

関連行事のお知らせ

★栽培講習会「ランの植え替えと管理」

5月4日(火・祝) 13:30-15:00
5月5日(水・祝) 13:30-15:00

場所/ドリアスホール
講師/富山県蘭協会会員
申し込み不要、入園料が必要です。

「私の植物画展」

5月7日(金)～6月2日(水)



一般から公募した植物画の作品を展示します。最近では全国から作品が寄せられ、国内でも有数の植物画展になってきました。実物そっくりに描かれた植物の精密画の世界をお楽しみください。

関連行事のお知らせ

★植物画講習会
「はじめての植物画」

5月15日(土)・16日(日)

今回は一日だけの講習会です。
詳細は巻末の催し物のご案内をご覧ください。

「さつき展」 6月4日(金)～6月6日(日)

地元のさつき愛好会「寿さつき会」の会員が栽培しているさつきの盆栽約60点を展示します。丹精こめて作り上げられた樹形や美しい花をお楽しみください。

**会期中は苗木の
即売もあります。**



昨年の中央植物園長賞



昨年の(財)花と緑の銀行理事長賞

「私の植物写真展」

6月11日(金)～7月14日(水)

5月9日(日)に開催する植物写真教室「やさしい花の撮り方」で撮影した作品と一般から公募したした写真を展示します。

出品作品の中から4点を選んで、植物園の表紙に使わせていただいています。

昨年の植物写真教室「やさしい花の撮り方」の様子です。参加を希望する方は催し物の案内をご覧の上、お申し込みください。



オープンライブラリー「植物図譜一般公開」

5月23日(日) 13:30～15:30

管理研修棟研修室 定員30名

(4月23日から電話で受け付けます。定員に達し次第締め切ります。)

富山県中央植物園が収蔵しているカーチスのボタニカルマガジンやライケンバッキアなど貴重図書を公開して紹介します。



「ボタニカルマガジン」



「ライケンバッキア」

「ボタニカルマガジン」

1787年2月1日に英国のウィリアム・カーチスによって創刊された植物図鑑で、今日まで220年以上に渡り発行され続けています。1948年までは、ほとんど全ての図版は石版画に絵具で手彩色され、色彩の美しさはもとより、科学的出版物としても高い評価を受けています。

「ライケンバッキア」

1886年から1895年にかけて英国で出版された手彩色石版画図譜。「ランの雑種目録」の著者として著名なフレデリック・サンダーによるランの図譜で、ランの研究者であり、収集家としても著名であったH.G. ライケンバッハを記念して命名されました。

植物園 トピックス

■雲南省でベゴニア調査



開花中のベゴニア野生種

富山県中央植物園と中国科学院昆明植物研究所との共同研究も9年目を迎えました。

今年度は日本学術振興会アジア研究教育拠点事業「東アジアにおける有用植物遺伝資源研究拠点の構築」の支援を受け、1月下旬から3月上旬にかけて兼本正主任を中心に中田政司主幹研究員と神戸敏成主任研究員が中国雲南省へ行きました。

昆明植物研究所のスタッフと共同で雲南省南部および広西チワン族自

治州のベゴニアの調査を行ってきました。この研究成果は研究報告や発表会を通じて順次紹介していく予定です。

また、平成23年の2月頃に植物園友の会で「中国雲南省の旅」を予定しています。熱帯植物やこのころに見ごろを迎えるトウツバキが見られます。



巨大板根と兼本主任

■植物園紹介ブログ「しずかのひとりごと」が始まりました。

植物園を紹介するブログ「しずかのひとりごと」

(<http://gomatama55.cocolog-nifty.com/blog/t>)が始まりました。中央植物園のホームページ(<http://www.bgtym.org/>)から入ることができます。植物園の裏事情やあまり紹介されることがない植物園の情報を知ることができます。ぜひのぞいてみてください。次の来園では新しい視点で植物園を見ることができかも。



研究紹介◎『小矢部市で見出された菊咲き性のサクラの新栽培品種』

主任 大原隆明

2008年の晩春に南砺市園芸植物園から「小矢部市内のあるお寺から問い合わせがあったのですが、これはなんという品種のサクラでしょうか」というお尋ねのメールをもらいました。さっそく添付画像を見てみると、花弁数が非常に多い菊咲き性のものであることがわかりましたが、品種を調べるのに重要なポイントとなる萼の様子がよく見えないため、どの品種に当たるのかは決めることができませんでした。

後日、実物を観察するために問い合わせのあった寺院に出かけたところ、もう開花期の終わりに近く花の詳細な調査はできなかったものの、葉の様子からこのサクラが純粋なヤマザクラの菊咲き性品種であることが推測できました。菊咲き性のサクラは全国に約25品種ほどが知られていますが、そのほとんどはヤマザクラ以外の野生種が関係したもので、純粋なヤマザクラに由来すると思われるものは京都府にある「コノハナザクラ」と兵庫県にある未発表の栽培品種の2つだけです。

そこで2009年は、小矢部市の菊咲き性のサクラが「コノハナザクラ」や兵庫県の未発表品種と同じものかを

確かめるために、春と晩夏に花と葉のサンプリング調査をそれぞれ行いました。その結果、小矢部市のものはほかの2品種とは異なる明らかな特徴があり、独自の栽培品種であることがわかりました。

その結果は11月に東京の玉川大学で開催された日本櫻学会で発表しましたが、概略は現在当園で開催されている企画展「植物画で見るサクラ展 ー永遠の桜の園ー」の中で展示しています。興味をもたれた方はぜひご覧いただければと思います。



小矢部市で見出されたサクラの新栽培品種



催し物のご案内

■企画展示

サンライトホール
(9:00~17:00)

「植物画で見るサクラ展—永遠の桜の園」

4月29日(木・祝)まで

友の会植物画部会員が描いた桜の絵葉書の原画と二口善雄画伯のサクラの植物画を展示します。入園料が必要です。

「第31回春のラン展」

5月3日(月・祝)~5月5日(水・祝)

エビネの開花に合わせて開催するラン展です。会期中はランの即売会や栽培講習会もあります。入園料が必要です。

「私の植物画展」

5月7日(金)~6月2日(水)

公募により一般から応募された植物画作品を展示します。入園料が必要です。

「さつき展」

6月4日(金)~6月6日(日)

地元愛好会の「寿さつき会」のサツキ盆栽を展示します。入園料が必要です。

「私の植物写真展」

6月11日(金)~7月14日(水)

植物写真教室の作品と一般から公募した作品を展示します。入園料が必要です。

■講座・講習会

★観察会「サクラの見分け方」

◎要申込

4月18日(日) 13:30~15:00

場所/園内、ドリアスホール

大原隆明主任が園内のサクラで見分け方を解説します。

入園料が必要です。

★栽培講習会

「ランの植え替えと管理」

① 5月4日(火・祝)

② 5月5日(水・祝)

両日とも13:30~15:30

場所/ドリアスホール

講師/富山県蘭協会会員

当日受付、入園料が必要です。

★県民植物学講座

「竹と笹」

◎要申込

① 5月8日(土) 13:30~15:30

「タケノコの味覚と謎」

講師:内村悦三園長

② 6月20日(日) 13:30~15:30

「タケとササの見分け方」

講師:高橋一臣主任

場所/研修室

参加費/無料

★植物写真教室

「やさしい花の撮り方」

◆要申込

5月9日(日) 13:00~16:00

講師:富山県写真家協会会員

場所/研修室、園内

参加費/無料

植物画講習会「はじめての植物画」

◆要申込

①5月15日(土)

②5月16日(日)

10:00~16:00

場所/研修室

講師/豊田路子(植物画家)

定員/25名(各日)

*両日とも同じ内容です。

★オープンライブラリー

「植物図譜一般公開」

◎要申込

5月23日(日) 13:30~15:30

中央植物園が収蔵するカーチスのボタニカルマガジンやライケンバッキアなどの植物図譜を公開して解説します。

場所/研修室

定員/30名 参加費/無料(園内へ入園する場合には入園料が必要)

■月例行事

緑のコンサート

第1土曜日 11:00~12:30

集合場所/植物園内

参加費/入園料が必要

滝沢卓氏のシンセサイザー演奏と植物園職員による見頃の植物紹介です。

日曜植物案内

第1日曜日 13:30~14:30

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

植物園ボランティアが見頃の植物など園内を案内します。

植物園オリエンテーリング

第3日曜日 10:00~11:00受付

植物に関する問題を解きながら楽しく園内をまわる行事です。

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

◎要申込 事前の申込が必要です。1ヶ月前より「電話」でお申込みください。

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から往復はがき・FAX・メール(botanic@bgty.org)で受け付けます。

★印はボランティア養成講座です

友の会会員募集中!

■特典 会員証を示しサインするだけで入園できます。/会報や植物園だよりが送られてきます。/多彩な友の会の行事に参加できます。/印刷物を割引で購入できます。

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)
(11月~1月は9:00~16:30、入園は16:00まで)
休園日 毎週木曜日(4月中と祝日の場合は開園)、年末年始(12月28日~1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 600円
団体料金(20名以上) 480円
高校生以下無料
冬季入園料(12月~2月)
大人(一般および大学生) 400円
団体料金(20名以上) 320円
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経由速星行き(休日のみ)」に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分